

# 小牧市民病院 緩和ケア病棟



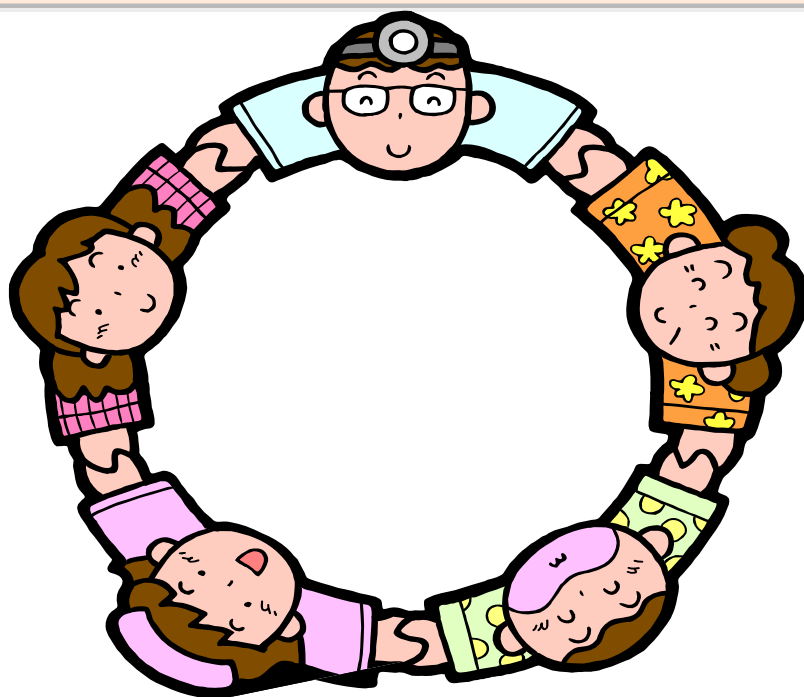
小牧市民病院  
緩和ケアセンター

# 緩和ケアとは

緩和ケアとは、病気の治療の全経過を通して認められる身体や心のさまざまな苦痛を和らげ、患者さんやご家族にとって可能な限り良好な生活の質（Quality of Life）を実現させるために、病状のどの時期においても行われる医療です。

病気によりおきる患者さんやご家族のからだのつらさ、気持ちのつらさ、生活面でのつらさといった様々なつらさ（苦痛）をやわらげるために、医師・看護師・薬剤師・心理士・ソーシャルワーカー・栄養士・ボランティアなど多くのスタッフが協力して行う取り組みです。

**緩和ケアは、病気を抱えた患者さんにご家族が  
「自分らしく生活していく」ことを支援します**



# 緩和ケア病棟



## 緩和ケア病棟の理念

- 緩和ケア病棟では、「患者さんやご家族が大切にしていること」を重視し、ひとりひとりの思いを尊重した支援を行います。
- 患者さんにご家族の抱える「からだのつらさ」や「こころのつらさ」が和らぐように支援を行います。
- 患者さんにご家族にとって大切な時間を少しでもご自宅で過ごせるよう、地域の医療機関と連携して支援を行います。

## 主な設備

病床数 14床（全室個室 有料個室6床）  
家族室 2室 家族用シャワー室  
介助浴室 1室 一般浴室 1室  
コインランドリー  
デイルーム（キッズルームあり）

## 緩和ケア病棟の入院費用

- 緩和ケア病棟の入院費用は健康保険が適用されます。  
治療内容にかかわらず定額制（お薬や点滴等を含む）  
となっています。

### 【医療費】1日あたり負担額の目安(2019年10月時点)

3割負担： 約15000 円  
2割負担： 約10000 円  
1割負担： 約 5000 円

\* 上記の金額には食事代や有料個室使用時の費用  
（1日6000円：税別）等は含まれていません。

\* 医療費が一定の金額を越えるものについては、  
「高額療養費制度」などにより自己負担額の軽減が図られます。  
医療費の心配がございましたら「患者支援センター」の  
ソーシャルワーカーにご相談ください。

## 緩和ケア病棟入棟面談外来予約方法のご案内

緩和ケア病棟では緩和ケア科医師が主治医となり入院治療・ケアを行います。がんと闘う治療は行いません。がんの治療を行っている主治医と今後の治療方針について相談の上、緩和ケア病棟入棟面談外来の受診をご検討ください。

- 当院通院中の患者さん 受診日については主治医とご相談ください。
- 他院通院中の患者さん 緩和ケア病棟入棟面談の予約には主治医からの紹介状が必要になります。

### 【緩和ケア科：緩和ケア病棟入棟面談外来予約方法】

対象患者：他医療機関通院中で緩和ケア病棟入院又は転院希望の患者さん  
(本人受診が難しい場合には家族のみでも受診可能です)

診察日：毎週火曜日、水曜日 14:00～16:00 完全予約制

- ①小牧市民病院患者支援センターへ「紹介状」・「緩和ケア病棟入棟面談情報提供書」をFAXします。
- ②患者支援センターより「紹介患者予約票」医療機関用、患者用をFAXします。
- ③患者様またはご家族に「紹介患者予約票」・「紹介状」・検査結果(血液、画像)・「入棟面談情報提供書」を渡します。
- ④緩和ケア外来を受診します(患者様もしくはご家族)
- ⑤後日、緩和ケア病棟入棟カンファレンスで入棟判定会議を行い入棟判定結果をFAX/郵送します(受診後1週間以内)  
小牧市民病院患者支援センター(予約センター)  
平日 午前8時30分から午後5時  
電話 0568-76-4131 FAX 0568-74-4516

\*「緩和ケア病棟入棟面談情報提供書」は病院ホームページよりダウンロードしてご利用ください。ご希望があれば、患者支援センターよりFAXさせていただきます。



# 緩和ケア病棟へ入院を予定されている皆様へ

緩和ケア病棟での入院生活により、皆様の抱えておられるつらさが、少しでも和らぐように病棟スタッフ一同で支援させていただきます。

患者さん・ご家族と医療者の間で共通理解をもって入院治療を行うために、緩和ケア病棟の特徴を記載させていただきます。疑問点については遠慮なくご質問下さい。

## 【緩和ケア病棟の特徴】

- 1) 抗がん剤を用いた「がんと闘う治療」は行いません。
- 2) 緩和ケア病棟で行われる治療は、症状緩和を目的とした点滴、肺炎など感染症治療、胸水腹水を抜く治療、輸血等です。  
(抗がん剤の使用以外は概ね一般の病棟と同様の治療が行われます)
- 3) 病状によっては過剰な点滴が負担となり、浮腫の悪化や痰の増加を引き起こすこともあります。その場合には、点滴をできるだけ減らして対応することがあります。
- 4) 痛みや息苦しさに対しては、症状を軽減する目的で、医療用麻薬（モルヒネなど）を使用することがあります。医療用麻薬は、医療者の管理の下で適切に使用すれば、依存するようなことや命を縮めることはありません。病状が悪化したからといって、お薬で眠ることを目的に医療用麻薬を使用することはありません。
- 5) 通常の治療（医療用麻薬の使用を含む）で、つらさの軽減が得られず、耐えがたい苦痛が持続している場合には、つらさを和らげる目的で、昼間でも睡眠薬の使用をお勧めすることがあります。

## 【主治医体制について】

- 緩和ケア病棟への入院と同時に、主治医は緩和ケア科医師に交代となります。ただし、専門的な対応が必要な場合には、緩和ケア科主治医より適宜各診療科へ相談し連携して治療にあたります。
- 緩和ケア科主治医が不在の場合には、当直医が対応させていただくことがあります。



### 【看護体制について】

○緩和ケア病棟では、日中は看護師4～6名、夜間は看護師2名の2交代制で、全ての患者さんのケアを行っています。

○夜間は患者さんの状況によってケアに多少お待ち頂く時間が生じる可能性があります、看護チームで統一したケアが提供できるように努めていきます。

### 【入院期間について】

緩和ケア病棟では、強い苦痛を有する患者さんや一般の病院では対応の難しい患者さんを優先的に受け入れています。そのため、状態が安定している患者さんには、入院期間に関係なく、自宅療養や転院での入院治療をお勧めする場合があります（この場合ソーシャルワーカーが患者さんのご家族の希望を伺いながら調整させていただきます）

## 緩和ケア病棟概要



- ・緩和ケア病棟は、院内併設型で14床全てが個室（有料個室6床）となっています。
- ・環境面の特徴としては、全室個室で、からだがつらくても過ごしやすいように、洗面、トイレの位置なども極力配慮した設計がなされています

- ・病棟の共有設備として、病室の外でも面会や食事ができるように、デイルームが設けられています。

ここで病棟スタッフやボランティアと一緒に季節の行事（お花見会、七夕祭り、夏祭り、クリスマス会など）を楽しむこともできます。食事をつくることのできるキッチン、幼いお子さんも面会しやすいようにキッズルームも設けられています。

- ・講習会を受講した一般市民がボランティアとして病棟環境整備やイベント支援をしています。



# 緩和ケア病棟についてのQ&A

## Q 末期がんの人が入院するのですか？

A：一般的には、抗がん剤や手術などの治療を行うことが困難であったり、そうした治療を希望しない患者さんがつらさを和らげるために緩和ケア病棟に入院されます。緩和ケア病棟に入院中であっても、体調がよければ自宅へ外泊されたり、また症状が安定された場合には退院し、外来通院をしながら、自宅療養をされる方もみえます。

## Q 病名・病状を告知しなければいけませんか？

A：緩和ケア病棟での入院生活をより充実したものにするため、患者さん本人が病名、病状、治療困難であることを理解されている必要があります。高齢の方や病状により理解が難しい場合には、病名、病状についてご家族の理解があれば緩和ケア病棟へ入院していただくこともあります。治療方針の決定が難しい場合や病状は伝えずに苦痛を軽減したいという場合には、各病院のがん相談支援センターや緩和ケアチームへご相談ください。

## Q 緩和ケア病棟での治療方針を教えてください

A：緩和ケア病棟では、つらさ（苦痛）を和らげる緩和医療、緩和ケアを積極的に提供することで「その人らしく」過ごせるように支援を行います。抗がん剤などのがんと闘う治療は行いません。症状緩和を目的とした点滴、肺炎など感染症治療、胸水や腹水を抜く治療、輸血などを行います。（抗がん剤の使用以外は概ね一般病棟と同様の治療が行われます）

## Q 検査は定期的に行いますか？

A：緩和ケア病棟では、定期的な血液検査やレントゲン検査などは基本的に行いません。状態に変化があり、検査を行うことで、患者さんの苦痛軽減のための治療方針を変更する可能性がある場合には、積極的に検査を行います。

## Q 免疫療法を受けるため他の医療機関の受診はできますか？

A：免疫療法については、緩和ケア病棟入院中に外出や外泊などで他の医療機関を受診して実施することは許可できません。外出や外泊で実施可能な状況であれば一旦退院し、自宅で過ごししながら、免疫療法を行ってください。

緩和ケア病棟内で行うことのできる民間療法（漢方や自然食品）については基本的にご自身の判断で行ってください。医療者は民間療法の実施のための援助は行いません（お薬を飲む手伝いなど）

また、他の患者さんに影響のある場合や安全管理上問題がある場合には民間療法の中止をお願いする場合があります。

## Q 延命処置については？

A：最期の瞬間に患者さんに負担を強いるような心臓マッサージや人工呼吸器  
血圧だけを無理にあげるような薬剤投与などの延命処置は行いません。

またモニター（心電図など）については患者さんの束縛感それに伴う混乱を助長することも多いため、緩和ケア病棟では装着しません。

## Q 家族の付き添いは必要ですか？

A：必ず付き添わないといけないということはありません。ただし、ご家族の付き添いがあった方が患者さんのつらさが和らぐ場合には、病棟スタッフから付き添いをお勧めすることもあります。緩和ケア病棟は全室個室で付き添いの方用の寝具の貸し出し（有料）も行っています。患者さんのご容態により複数の家族の方が付き添われる際には家族室もご利用頂くことができます。（家族室の室料は無料）

## Q 一旦入院すると退院はできないのですか？

A：患者さんの体調が安定していれば、外出や外泊は可能です。また、一旦退院され、外来通院をしながら在宅療養をすることもできます。退院後も、病状が悪化した際には再入院可能です。



## Q 緩和ケア病棟は申し込めばすぐに利用できますか？

A：一般的に緩和ケア病棟はお部屋が空いていることが少ないです。

そのため、主治医を通じて申し込みをしていただいてから数週間～1か月程度お待ちいただくことがあります。

- \* 緩和ケア病棟への入院の順番については、患者さんの状態をみて判断するため、申し込みの順番通りにならないこともあります。
- \* 自宅療養中に体調が悪く緊急入院が必要な時には、直接緩和ケア病棟への入院は困難な場合が多いため、まず紹介元の病院や診療科での入院となります。その後緩和ケア病棟への転院（転棟）の手続きを行います。
- \* 体調が悪化したら緩和ケア病棟へ入院したいというご希望があれば、主治医を通じて早めに緩和ケア外来を受診することをお勧めします。
- \* 緩和ケア外来の受診には全て主治医を通じての予約が必要となります。

## Q 緩和ケア病棟での過ごし方を教えてください

A：緩和ケア病棟では起床や就寝、家族や友人との面会など基本的に患者さんの生活スタイルに合わせるように配慮します。主治医の許可のもと、お酒を召し上がって頂くことも可能です（ご家族だけでの飲酒はできません）。

全体的に一般の病棟のよりも制限はゆるやかになっています。

入院時に病棟看護師と相談しながら生活ペースを決めていきます。

## Q 面会時間について教えてください。 ペットの面会はできますか？

A：面会は24時間可能です（夜間は施錠されますがインターホンで対応します）  
また、ペットの面会も可能です。

\* ペット面会時間は9:00～21:00（可能であれば前日にシャンプーをお願いします）  
ペットの管理は各自でお願いします。





# 病室のご案内



無料個室19.8㎡（8室）  
（室料 無料）



テレビ・冷蔵庫（有料）  
トイレ・ソファベッド



有料個室 24㎡（6室）  
（室料 1日6000円：税別）

テレビ・冷蔵庫（無料）  
ソファベッド  
トイレ



# 緩和ケア病棟の主な設備のご紹介



デイルーム



キッズルーム



一般浴室



キッチン



介助浴室



家族用シャワー室



家族室







小牧市民病院での緩和ケアを含めた療養に関わるすべての相談は  
「患者支援センター」が窓口になります。

[連絡先]0568-76-4131(代) (患者支援センター)

月曜日～金曜日(祝日、年末年始は除く)

受付時間9:00～16:30